

コーパスを利用した複合動詞「－戻る」の意味分析

杉 村 泰

キーワード：コーパス、コロケーション、複合動詞、「－戻る」、日本語教育

1. はじめに

本稿は日本語の複合動詞「－戻る」の意味について考察したものである。複合動詞「－戻る」について論じた先行研究は管見の限り見当たらない。そこで本稿では杉村(2007c)で扱った複合動詞「－戻す」の分析結果と比較しながら論じることとする。まず2節で本動詞「戻す」と「戻る」の対応について観察し、その後に複合動詞「－戻す」と「－戻る」の対応について分析する。

2. 本動詞「戻す」と「戻る」の対応

杉村(2007c)では複合動詞「－戻す」との対応を見ることにより、本動詞「戻す」には大きく7つの用法があることを指摘した(表1左側の①～⑦)。これをもとに本動詞「戻す」と「戻る」の対応関係を見ると、表1の①～⑦のように両者はほぼ自他の対応をしていることが分かる。このうち⑦の「戻す」は経済用語に見られる特殊な用法である。他動詞構文の形を取っているが、主体である「株価」や「相場」に能動性はなく、「値を戻す」、「株価を戻す」全体で自動詞的に無意志の状態変化を表している。この点で①～⑥のような「戻せば→戻る」という対応とは異なっている。

表1 本動詞「戻す」と「戻る」の対応

本動詞「戻す」	本動詞「戻る」
①対象(具象物)を元の位置に移す ・本を棚に <u>戻す</u> 。 ・(私は)盗んだ金を金庫に <u>戻す</u> 。 ・*盗まれた金を手元に <u>戻す</u> 。(cf.「取り戻す」なら可)	①対象(具象物)が元の位置に復帰する ・本が棚に <u>戻る</u> 。 ・盗まれた金が手元に <u>戻る</u> 。

<p>②対象（抽象物）を元の位置に移す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最高裁が審理を高裁に<u>戻す</u>。 ・意識を元に<u>戻す</u>。 ・記憶を元に<u>戻す</u>。 ・視線を元に<u>戻す</u>。 ・時代を過去に<u>戻す</u>。 	<p>②対象（抽象物）が元の位置に復帰する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・審理が最高裁から高裁に<u>戻る</u>。 ・意識が元<u>に戻る</u>。 ・記憶が元<u>に戻る</u>。 ・視線が元<u>に戻る</u>。 ・時代が過去に<u>戻る</u>。
<p>③ある状態を元の状態に回復させる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画を白紙に<u>戻す</u>。 ・汚れた川を元の清流に<u>戻す</u>。 ・よく寝て体調を元<u>に戻す</u>。 	<p>③ある状態が元の状態に回復する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画が白紙に<u>戻る</u>。 ・汚れた川が元の清流に<u>戻る</u>。 ・よく寝れば体調が元<u>に戻る</u>。
<p>④一度乾燥した物を元の水分のある状態に回復させる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・干し椎茸を水で<u>戻す</u>。 	<p>④一度乾燥した物が元の水分のある状態に回復する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・干し椎茸が水で<u>戻る</u>。
<p>⑤人を元の場所に帰らせる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入管が密入国者を本国に<u>戻す</u>。 ・（本国が）秘密工作員を本国に<u>戻す</u>。 	<p>⑤人が元の場所に帰る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・密入国者が本国に<u>戻る</u>。 ・秘密工作員が本国に<u>戻る</u>。
<p>⑥一度食べたり飲んだりしたものを胃から吐き出す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気分が悪くなって食べたものを<u>戻す</u>。 	<p>⑥一度食べたり飲んだりしたものが胃から出る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気分が悪くなって食べたものが<u>戻る</u>。
<p>⑦（経済的な）状態が回復する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（株価が）値を<u>戻す</u>。 ・（相場が）株価を<u>戻す</u>。 	<p>⑦（経済的な）状態が回復する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（株価は）値が<u>戻る</u>。 ・（相場は）株価が<u>戻る</u>。
<ul style="list-style-type: none"> ・*冬の寒さを<u>戻す</u>。（cf.「取り戻す」なら可） ・*平和を<u>戻す</u>。（cf.「取り戻す」なら可） ・*落ち着きを<u>戻す</u>。（cf.「取り戻す」なら可） ・*落とし物を手元に<u>戻す</u>。（cf.「取り戻す」なら可） 	<p>⑧（自然に）状態が回復する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬の寒さが<u>戻る</u>。 ・平和が<u>戻る</u>。 ・落ち着きが<u>戻る</u>。 ・落とし物が手元<u>に戻る</u>。

一方、⑧のように状態が自然に回復することを表す場合は、自動詞形の「戻る」は使えるが他動詞形の「戻す」は使えない。¹⁾ このことから、⑦のような場合を除き、「戻す」は意識的にせよ無意識的にせよ主体に能動性がある場合にしか使えないのに対し、「戻る」は動作主が想定されにくい自然発生的な状態回復を表す場合にも使われることが分かる。

また、⑤の「人が元の場所に戻る」という時の「戻る」は、戻る人に意志性がある場合もあれば意志性がない場合もある。後者の場合、ガ格は人であっても「本が棚に戻る」

と同じように物扱いされていると捉えられる。ここで重要なのは、複合動詞の「－戻る」は「駆け戻る」、「舞い戻る」のように人が意志的に元の場所に戻ることを表す場合に使われる例がほとんどであるということである。この点で、複合動詞の「－戻す」が本動詞「戻す」の①②④～⑦に対応する幅広い用法を持っているのとは対照的である。

3. コーパスの概要

本稿ではインターネットの WWW ページをコーパスとして、「－戻る」がいかなる動詞と共に起しやすいのかを見る。WWW ページをコーパスとして使うことについては、不自然な表現が混じる、データの保存性が悪い、ジャンル別の検索が難しいなどの批判もある。しかし、WWW ページには巨大規模のデータを検索エンジンで手軽に検索できるという利点もある。しかも、特定のジャンルに偏らずに検索できるため、日本語の総体を見るには有利である。²⁾ このことは文学作品に偏った CD-ROM 版『新潮文庫の 100 冊』と比べるとよく分かる。以下、本稿で使用したコーパスの概要を記しておく。³⁾

① CD-ROM 版『新潮文庫の 100 冊』

検索対象：日本人作家による 67 冊

検索方法：ソフトに付いている検索機能で「戻」、「もと」の付く表現を全て検索し、その中から複合動詞「－戻る」を抽出した。(名詞の「～戻り」は含まず)

② インターネットの WWW ページ

検索エンジン：goo のフレーズ検索 (<http://www.goo.ne.jp/>)

検索日：2007 年 7 月 8 日～2007 年 7 月 29 日

検索方法：前項動詞は『日本語基本動詞用法辞典』にある 852 語を含む 1,068 語を対象とし、これらと漢字表記の「－戻る」、「－戻った」、「－戻らない」、「－戻らなかった」、「－戻ります」、「－戻りました」、「－戻りません」、「－戻って」の共起について検索した。表 2 にはその合計ヒット数を示してある。(連用形の「－戻り」は名詞の「～戻り」も多数含まれるため検索対象から外した)

4. CD-ROM 版『新潮文庫の 100 冊』の検索結果

CD-ROM 版『新潮文庫の 100 冊』からは合計 78 例の「－戻る」が出現した。前項動詞の異なり語数は 7 語である(表 2)。このうち「立ち戻る」には、例 (1) のように具体的な場所(「法水院のほう」)に戻ることを表す場合と、例 (2) のように抽象的な場所(「同じ問題点」)に戻ることを表す場合とがある。それ以外は全て例 (3)、例 (4)

のように具体的な場所に戻ることを表している。

- (1) 二人は静いながら、もう私の存在は忘れて、法水院のほうへ立戻って来た。(三島由紀夫『金閣寺』)
- (2) 太郎はその夜遅く、再び愚かしくも、同じ問題点に立ち戻って来た。(曾野綾子『太郎物語』)
- (3) はじき返されるように、今来た路地を、力いっぱい、駈け戻っている。(阿部公房『砂の女』)
- (4) 家から外へ駈け出してしまう犬があれば、追いかけて連れ戻るのも米次郎の役目である。(有吉佐和子『華岡青洲の妻』)

一方、杉村(2007c)で論じた「-戻す」は合計300例、異なり語数で12語あった(表2)。複合動詞の「-戻す」は「取り戻す」、「引き戻す」、「連れ戻す」、「呼び戻す」、「買い戻す」のように、対象を外部から主体側に向けて移す場合に使われることが多い。この点で本動詞の「戻す」が対象を主体側から外部に向けて移す場合に使われるのが普通であるのとは異なっている。その結果、「取り戻す」などは、本動詞「戻す」が「*盗まれた金を手元に戻す」のように言えないことの補完として機能している。

ここで複合動詞の「-戻す」と「-戻る」の対応について見てみると、本動詞の「戻す」と「戻る」が「本を棚に戻す→本が棚に戻る」という行為と結果の関係になっているのに対し、複合動詞の「-戻す」と「-戻る」はこのような対応関係ではなく、それぞれ独立の意味を担っていることが分かる。例(4)の「連れ戻る」も「犬を連れ戻す→*犬が連れ戻る」という行為の結果を表しているのではなく、「犬を連れて戻る」という主体の意志的な行為を表している。このように、複合動詞の「-戻る」は動作主が前項動詞で表される移動行為によって「どのように戻るのか」を表すのが基本的な用法であると考えられる。

表2 「-戻る」の出現数
(『新潮文庫の100冊』)⁴⁾

	「-戻る」	出現数
1	駆け戻る	30
2	立ち戻る	16
3	舞い戻る	15
4	逃げ戻る	9
5	馳せ戻る	3
6	連れ戻る	〃
7	走り戻る	2

表3 「-戻す」の出現数
(『新潮文庫の100冊』)⁴⁾

	「-戻す」	出現数		「-戻す」	出現数
1	取り戻す	181	7	巻き戻す	4
2	引き戻す	30	8	払い戻す	3
3	連れ戻す	27	9	突き戻す	〃
4	押し戻す	19	10	差し戻す	2
5	呼び戻す	17	11	漕ぎ戻す	1
6	買い戻す	12	〃	移し戻す	〃

5. インターネットの WWW ページの検索結果

次に WWW 検索の結果を見る。今回調査した 1,068 語の動詞のうち、「－戻る」と 1 件以上共起したものは 114 語であった。このうち上位 45 語を表 4 に示す。表 4 の上位には表 2 と同様に動作主の意志的な移動行為を表す非能格自動詞が来やすいことが分かる（「馳せ戻る」は検索対象に入っていない）。このことから、「－戻る」は動作主が前項動詞で表される移動行為によって「どのように戻るのか」を表すのが基本的な用法であると考えられる。

ところが、WWW ページの検索結果を見ると、これ以外にも上位には「巻き戻る」、「出戻る」、「死に戻る」、「持ち戻る」、「引き戻る」、「取り戻る」、「振り戻る」、「揺れ戻る」、「呼び戻る」、「打ち戻る」、「読み戻る」、「切り戻る」などの表現が入ってくる。中でも「巻き戻る」、「引き戻る」、「取り戻る」、「呼び戻る」などは「巻き戻す」、「引き戻す」、「取り戻す」、「呼び戻す」という行為の結果を表す点で注目される。表 5 に示されるように、「巻き戻す」、「引き戻す」、「取り戻す」、「呼び戻す」は「－戻す」の上位 5 位までに入る。前節では複合動詞の「－戻す」と「－戻る」は行為と結果の対応関係にないとしたが、WWW ページからは不自然ながらもこのような例が出現する。本稿ではこのような表現の位置付けも考える。

表 4 「－戻る」と共起する動詞上位 45 語（WWW ページより）

	前項動詞	ヒット数		前項動詞	ヒット数		前項動詞	ヒット数
1	舞う	27,370	16	振る	80	31	生える	21
2	立つ	18,169	17	揺れる	77	32	吹く	20
3	巻く	6,403	18	歩く	55	33	生きる	19
4	出る	5,711	19	呼ぶ	54	34	上がる	18
5	駆ける	1,733	20	打つ	47	〃	登る	〃
6	逃げる	795	21	転がる	43	36	差す	16
7	死ぬ	536	〃	読む	〃	37	跳ぶ	15
8	持つ	369	23	切る	40	38	探す	14
9	連れる	341	24	巡る	39	39	攻める	12
10	引く	333	25	押す	36	〃	寄る	〃
11	走る	278	26	下る	34	41	向く	10
12	急ぐ	223	〃	渡る	〃	42	下げる	9
13	取る	111	28	泳ぐ	31	〃	焼く	〃
14	飛ぶ	97	29	帰る	29	〃	書く	〃
15	這う	94	〃	流れる	〃	45	越える	8

表5 「－戻る」と共起する動詞上位45語（WWW ページより）

	前項動詞	ヒット数		前項動詞	ヒット数		前項動詞	ヒット数
1	取る	345,410	16	売る	431	31	置く	56
2	呼ぶ	27,093	17	繰る	373	〃	貼る	〃
3	買う	26,442	18	振る	279	〃	持つ	〃
4	引く	24,417	19	送る	235	34	追う	54
5	巻く	21,514	20	読む	217	〃	吸う	〃
6	払う	19,852	21	植える	200	36	吹く	52
7	連れる	14,468	22	積む	155	37	突く	49
8	差す	11,555	23	引っ張る	154	38	下げる	45
9	押す	7,744	24	足す	144	39	上げる	44
10	埋める	7,009	25	受ける	130	〃	蹴る	〃
11	書く	6,989	26	曲げる	124	〃	付ける	〃
12	切る	6,448	27	組む	116	〃	茹でる	〃
13	割る	2,182	28	入れる	93	43	揺れる	43
14	吐く	990	29	煮る	71	44	運ぶ	42
15	焼く	439	30	投げる	61	45	奪い	37

6. 「－戻る」の意味

本節では「－戻る」のうち WWW ページからの出現数が多いもの上位 30 語を見ることにより、「－戻る」がいかなる用法で使われるのかを分析する。

6. 1 基本的用法

CD-ROM 版『新潮文庫の 100 冊』および WWW ページの検索結果を見ると、「－戻る」の前項動詞には動作主の意志的な移動行為を表す非能格自動詞が現れやすいことが分かる。事実、表 4 の上位 30 語のうち動作主の移動行為を表すものは、「舞い戻る」、「駆け戻る」、「逃げ戻る」、「走り戻る」、「飛び戻る」、「這い戻る」、「歩き戻る」、「巡り戻る」、「下り戻る」、「渡り戻る」、「泳ぎ戻る」の 11 語もある。⁵⁾ したがって、「－戻る」の基本的用法は「動作主が元の場所に～して（移手段）戻る」という意味を表すと考えられる。（例（5）～例（8））

- (5) 死に場所と定めた故郷に、数十年ぶりに舞い戻った男。

(<http://www.bk1.jp/product/01945245>) 2007/7/29

- (6) 走ってきた道をまた、同じように走って、学校へ駆け戻りました

(<http://mori.naohide-y.com/?month=200610>) 2007/7/15

- (7) 朝倉勢は越前刀禰坂で追いつかれて惨敗、十五日に義景ははろうじて一乗谷に逃げ戻った。

(<http://www.sengokudama.com/taiga/vol04.html>) 2007/7/29

- (8) 帰りは御池のほとりを巡り戻ります。

(<http://guide-club.jp/kujuuwoarukou/yotei/2005/nakadake.html>) 2007/7/29

さらに、「転がる」や「流れる」は普通無意志の非対格自動詞として使われることが多いが、動作主の意志的行為を表す非能格自動詞として使われることもある。その場合、「転がり戻る」や「流れ戻る」は「舞い戻る」や「駆け戻る」と同じように「動作主が元の場所に～して（移動手段）戻る」という意味を表す。（例（9）、例（10））

- (9) 左に「ころ、ころ、ころ」と3回転がった後、右に「ころ、ころ」と2回転がり戻るというような、どう考えても重心がずれているとしか思えない挙動をする。

(<http://www.me.ccnw.ne.jp/cnoise/column/clm0060.htm>) 2007/7/16

- (10) 日本の空気の漂っているのは広い陸地に今はただこの船内だけだったから、もとの水槽へ流れ戻った魚のように急に神経が揉みほぐされたものであろう。（青空文庫『旅愁』横光利一）

(http://www.aozora.gr.jp/cards/000168/files/2246_20011.html) 2007/7/29

また、「急ぐ」も基本的には行為を迅速に行うことを表す動詞であり、それ自体が移動手段を表すわけではない。しかし、「帰り道を急ぐ」などの「急ぐ」は「急いで歩く」という意味を表し、移動手段に準じた使われ方をする。そのため、「急ぎ戻る」も「動作主が元の場所に～して（移動手段）戻る」という意味を表す。（例（11）、例（12））

- (11) 故郷の修道院が火事と聞き、急ぎ戻ったアレシアたち。

(http://kakaku.journal.mycom.co.jp/item_info/20512761810818.html) 2007/7/8

- (12) 日本海を堪能すると突然大粒の雨にやられ、砂丘を雨の中急ぎ戻ります。

(<http://red.ap.teacup.com/matsuzaki/12.html>) 2007/7/8

一方、「連れる」は連行の対象をヲ格にとる他動詞である。しかし、「連れる」は動作主の移動を伴う行為であるため、「子供を連れ歩く」のように移動手段に準じた使われ方をする。そのため、「連れ戻る」も「動作主が元の場所に（対象を）～して（移動手段）戻る」という意味を表す。ここで注意したいのは、「連れ戻る」において戻るのは対象

ではなく動作主であるということである。例(13)のような文を見る限り、戻るのは動作主の「教師」と対象の「児童」の双方であるかのように思われる。しかし、例(14)を見ると、連れられて来たペンギンは始めてこの地に来たわけであるから、戻るのは動作主であることが分かる。⁶⁾

- (13) 在学中に「東海地震注意報」が発表された場合は、教師引率で速やかに帰宅させます。家に帰って誰もいない場合は、学校へ連れ戻ります。

(<http://www.kasugai.ed.jp/saio-e/tougekkou/default.htm>) 2007/7/29

- (14) 南極からペンギンを連れ戻ったかと思えば数年も経たないうちに、今度は妻子を残して海外で放浪をしながら愛人との同棲生活。

(<http://jinzai.i-care.jp/theme?s=&e=&l=&t=13&p=13>) 2007/7/28

以上のように「-戻る」の前項動詞には動作主の意志的な移動行為を表す非能格自動詞が現れやすい。しかし、同じ動作主の移動を表す動詞でも、「*行き戻る」、「*来戻る」、「*向かい戻る」、「*戻り戻る」、「*進み戻る」、「*動き戻る」は1件も出現しなかった。この点について杉村(2007d)では複合動詞「-疲れる」について分析し、同じ動作主の移動を表す非能格自動詞でも、移動の手段を表す「歩く」、「泳ぐ」、「走る」、「飛ぶ」は「-疲れる」と共起しやすいのに対し、移動行為そのものを表す「行く」、「来る」、「帰る」、「進む」は「-疲れる」と共起しにくいことを指摘した。「-戻る」の場合も移動の手段を表す動詞とは共起しやすく、移動行為そのものを表す動詞とは共起しにくいことが分かる。

なお、「帰り戻る」はWWW検索では29件出現した。しかし、これらは「舞い戻る」や「駆け戻る」のように「どのような手段で戻るのか」を表すものではなく、「帰り着く」のように「行為+結果」を表すものであるという点で違いがある。⁷⁾ (例(15)、例(16))

- (15) 当初、9人が告訴されましたが、重要な証人が日本へ帰り戻ってくる事を拒否した為、5人は不起訴になったと言う事です。

(<http://kiwidream.exblog.jp/1368249/>) 2007/7/15

- (16) 都に忘れた笛を取りに帰り戻ったところで、源氏方の熊谷次郎直実に見つかります。

(http://www.terra.dti.ne.jp/~umetsu/nanbu/nanbu_ichinotani.html) 2007/7/15

6. 2 物質の還流を表す用法

一方、「-戻る」は「無意志の主体が元の場所に～して(移動手段)戻る」という意

味で使われる用法もある。この場合、物質が循環して元の場所に戻るという意味で使われるのが普通で、前項動詞には「巡る」や「流れる」など物質の還流を表す動詞が来る。このような「－戻る」は基本的用法の「巡り戻る」や「流れ戻る」などからの派生として考えられる。(例 (17)、例 (18))

- (17) プラズマは太陽の内部から立ち上がってはまた内部へと巡り戻っていく。

(http://www.zizco.jp/01sun/sun_basic.html) 2007/7/29

- (18) 足を心臓より高い位置に上げることで、足に溜まった血液が重力に従って、疲労物質や老廃物と共に上半身へと流れ戻って行くことによりむくみが解消します。

(<http://ashi-nayami.sblo.jp/category/348323-1.html>) 2007/7/29

6. 3 状況の後戻りを表す用法

また、「－戻る」には「状況が以前の状態に（不意に）戻る」という意味で使われる用法もある。この場合、記憶や意識、季節などに限定して使われるのが普通で、忘れていたものが不意に戻ってくるような場合によく使われる。このような状況の復帰（回復）を表す「－戻る」は、「舞い戻る」のほかに「振り戻る」や「揺れ戻る」があるぐらいである。ただし、「振り戻る」や「揺れ戻る」は対応する「振り戻す」や「揺り戻す」を持つ点で「舞い戻る」とは異なっている。この「舞い戻る」は基本的用法の「舞い戻る」からの派生として考えられる。(例 (19)、例 (20))

- (19) ところが、仏文研究室に一步入ると、ふわりと学生時代に舞い戻りました。

(<http://home.hiroshima-u.ac.jp/france/Sotugyouseikara.html>) 2007/7/29

- (20) 12日は風速30メートル超の突風が吹き、以来雪、雪。春気分が一転、本格的な冬に舞い戻りました。

(<http://www.nurs.or.jp/~suiden/member/index.htm>) 2007/7/29

6. 4 原点への回帰を表す用法

6.1 で見た「－戻る」と違い、「立ち戻る」は動作主が立って戻るという意味を表すわけではない。「立ち戻る」はもう一度事柄の原点に戻り立つという意味で、「立ち返る」に似た意味を表す。「立ち戻る」にはまず「動作主が元の具体的な場所に戻る」という意味があり、そこから「動作主が元の抽象的な場所（原点）に戻る」という用法が派生する。(それぞれ例 (21)、例 (22))

- (21) 凶悪犯罪を行なった犯人は「現場に立ち戻る」といわれる。

(http://blog.livedoor.jp/gold_7777/archives/50679235.html) 2007/7/28

- (22) 介護の原点に立ち戻りませんか？

(<http://jinzai.i-care.jp/theme?s=&e=&l=&t=13&p=13>) 2007/7/28

6. 5 「－戻す」と対応する「－戻る」①

以上の「－戻る」はいずれも対応する「－戻す」が想定されないものである。これに対し、6. 5と6. 6の「－戻る」は対応する「－戻す」が存在する点で大きな違いがある。このうち大部分のものは先に「テープを巻き戻す」のような他動詞表現があり、そこから「テープが巻き戻る」のような対象の結果状態を表す自動詞表現が派生してできたと考えられる。例 (23) ～ (27) は順に「巻き戻される」、「引き戻される」、「取り戻される」、「呼び戻される」、「押し戻される」と言うのが規範的な言い方である。しかし、これらの文脈は動作主が背景化されたり事態が自然に生じてくることを表す場面であるため、使役受身形の「～し戻される」では他者からの働きかけが強く出すぎてしまう。そこでこうした働きかけ性を排除するために、自動詞形の「～し戻る」で代用されたのがこの用法であると考えられる。このような用法は「巻き戻る」以外にはまだ人口に膾炙していないと思われるが、WWW ページからは多数出現している。今後日本語が変化して普通に使われるようになる可能性もある。⁸⁾

- (23) TSUTAYA でビデオを借りたら巻き戻ってませんでした。

(http://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q1212277847) 2007/7/29

- (24) が、あるひと言で、ボクは現実に引き戻ります。

(<http://plaza.rakuten.co.jp/mosan/diary/?ctgy=6>) 2007/7/29

- (25) 自分の内側から、本当のパワーが取り戻って来ます☆

(<http://alohamana.blog77.fc2.com/>) 2007/7/29

- (26) 忘れかけていた感動が再び呼び戻って来たのです。

(<http://www.jichi.ac.jp/AMSC/jpn/members.htm>) 2007/7/29

- (27) 突っ込んで突っ込んで押し戻る座薬。

(http://blogs.dion.ne.jp/jordash/archives/cat_53940.html) 2007/7/11

6. 6 「－戻す」と対応する「－戻る」②

一方、例 (28) ～ (31) のような「揺れ戻る」、「振り戻る」は対象が「揺れて戻る」、「振れて戻る」という意味であり、無意志の主体（振り子、状況）が元の場所や状況に反転して戻ることを表している。この場合、上の「巻き戻る」などとは違い、対応する

「揺り戻す」や「振り戻す」の方が有標の表現となっている。⁹⁾「揺れ戻る」や「振り戻る」は対応する「－戻す」を持つ点を除けば、無意志の主体が循環して戻ることを表す「巡り戻る」や「流れ戻る」に近い意味を表している。

- (28) コツツン、コツツンと時を刻む振り子が揺れ戻るタイミングで捕って投げればいいのです。

(<http://aiaicojp.onayamihikaku.com/02.php>) 2007/7/29

- (29) 知事選でも自民系候補が接戦を演じ、民主優位だった県内は大きく保守へと揺れ戻った。

(<http://shin-en.seesaa.net/archives/200512-1.html>) 2007/7/29

- (30) 「今世紀は振り子が大きく反対側に振り戻る」

(<http://www.iwamototakahisa.com/blog/archives/o/>) 2007/7/29

- (31) 近年の EU による国家の統合がもたらしたものは、単なる通貨の統一だけではなく、市民が依るべき基軸が「国家」から「都市」へと振り戻った点です。

(<http://www.o-bay.or.jp/o-bay/ob25/ob25.html>) 2007/7/29

なお、「振り戻す」には例 (32) のように経済用語の「振り戻す」の結果を表す「振り戻される」の意味で使われたものや、例 (33) のように「振り返る」の意味で使われたものも出現した。このような例はあまり普通の言い方ではないと思われるが、「－戻る」の新しい使い方として注目される。

- (32) 臨時財政対策債は、地方財政計画を勘案して 18 年度まで計上し、19 年度以降は普通交付税に振り戻るものとした。

(http://www.city.toyonaka.osaka.jp/toyonaka/gyouzaisei/kaito/keikaku_03.pdf) 2007/7/29

- (33) ユキが振り戻ると雲七の姿はなかった

(<http://plaza.rakuten.co.jp/seedpoke/diary/>) 2007/7/29

6. 7 その他の「－戻る」

その他、「－戻る」には次のような特殊な用法がある。それぞれ個別に意味を記述しておく。

「出戻る」は一度ある場所から出た後、再び元の場所に戻ることを表す。離婚して実家に戻る場合に使うのが普通であるが、職場復帰の場合にも使われる。(例 (34)、例 (35))

- (34) だが、跡継ぎを授かったとたん離縁され実家に出戻るはめに・・・。

(<http://digitownj.com/books/issatsu/t/tu/tukigami.html>) 2007/7/28

- (35) 最近、我が社を退職された方が社外協力者で出戻ってくるという珍事が発生しています。のなきちさんも戻ってくる。

(<http://webkit.dti.ne.jp/bbs1/nonabbs/main/>) 2007/7/28

「持ち戻る」は郵便配達の際に一度局から持って出た郵便物を再び局に持って帰ることを表す。前項動詞が移動動詞でない点を除けば、基本的用法の「連れ戻る」に近い意味を表す。(例 (36))

- (36) ご不在で持ち戻ったゆうパックは、受取人のお客さまのお申出により、ご希望の場所へ転送します(無料)。

(http://www.post.japanpost.jp/service/parcel/you_pack/index.html) 2007/7/29

「死に戻る」は一度死んでからまた元の世界に戻ってくることを表す。コンピューターゲームの世界で使われる用法である。(例 (37)) なお、「生き戻る」は戦場などから生きて戻ることを表す。

- (37) そうだ、死ねば街に戻されるんじゃないね? w (中略) 死に戻って街に来た私たちは、帰り道がわからなかった・・・

(<http://mayusaya.blog17.fc2.com/blog-entry-1378.html>) 2007/7/11

・「打ち戻る」は札所への往復に同じ道を使って戻ることを表す。(例 (38))

- (38) ところで、この「打つ」というのは、昔の遍路が使った「納札」は木で出来ていて、その納札を札所の門や堂に釘で打ちつけて回ったことから、お参りすることを「打つ」と呼ぶようになったということです。今は言葉としてだけ残っていて「1番を打つ」などと使います。また札所への往復に同じ道を使う場合に「打ち戻る」とか、逆コースに回ることを「逆打ち」などと言います。

(<http://www.kushima.com/henro/keywords/kugiri.htm>) 2007/7/8

「読み戻る」は一度読み進めた文章をもう一度元に戻って読むことを表す。「読み返す」が行為の反転、「読み直す」が行為の修正を表すのに重点があるのに対し、「読み戻す」は読み位置を前に戻すことに重点がある。(例 (39))

- (39) 上2冊はマンガなのですが、なかなかの長編大作な作品である上、登場人物の見分けに時間がかかり、何度も読み戻ってしまいました。

(<http://doborin.blog64.fc2.com/blog-date-200605.html>) 2007/7/29

「切り戻る」は機器のスイッチが切り替わって元の状態に戻ることを表す。(例 (40))

- (40) 障害回復時は本装置がマスタータに自動的に切り戻るようにします。

(http://www.sogeninc.co.jp/omron/set_up/3/index.html) 2007/7/16

7. まとめ

以上、本稿ではコーパスを利用して複合動詞「－戻る」の用法について分析した。その結果を以下にまとめておく。

1. 対応する「－戻す」が想定されないもの

- ① 動作主が前項動詞で表される移動手段によって元の場所に戻ることを表す（基本的用法）

文型：「動作主ガ 元の場所ニ 動詞（移動手段）＋戻る」

例：「舞い戻る」、「駆け戻る」、「逃げ戻る」、「走り戻る」、「急ぎ戻る」、「連れ戻る」

- ② 無意志の主体（物質）が循環して元の場所に戻ることを表す

文型：「無意志の主体（物質）ガ 元の場所ニ 動詞（移動手段）＋戻る」

例：「巡り戻る」、「流れ戻る」

- ③ 忘れかけていた記憶や意識、季節などの状況が不意に戻ってくることを表す

文型：「状況ガ 以前の状態ニ 舞い戻る」

- ④ 動作主が原点（具体的な場所でも抽象的な場所でも可）に戻ることを表す

文型：「動作主ガ 元の場所ニ 立ち戻る」

- ⑤ 動作主が元の場所に帰着することを表す（「帰り着く」に似ている）

文型：「動作主ガ 元の場所ニ 帰り戻る」

2. 対応する「－戻す」が想定されるもの

- ⑥ 対象が前項動詞で表される行為を受けて元の場所や状況に戻ることを表す（対応する「－戻す」から派生してできたものであり、多少不自然な用法である）

文型：「対象ガ 元の場所や状況ニ 動詞＋戻る」

例：「巻き戻る」、「引き戻る」、「取り戻る」、「呼び戻る」、「押し戻る」

- ⑦ 無意志の主体（振り子、状況）が元の場所や状況に反転して戻ることを表す（対応する「振り戻す」や「揺り戻す」はここから派生してできたものである）

文型：「無意志の主体（振り子、状況）ガ 元の場所や状況ニ 振り戻る／揺れ戻る」

例：「振り戻る」、「揺れ戻る」

3. その他

- ・「出戻る」：一度ある場所から出た後、再び元の場所に戻ることを表す
- ・「持ち戻る」：郵便配達の際に一度局から持って出た郵便物を再び局に持って帰ることを表す
- ・「死に戻る」：一度死んでからまた元の世界に戻ってくることを表す（コンピューターゲームの世界で使われる）
- ・「打ち戻る」：札所への往復に同じ道を使って戻ることを表す
- ・「読み戻る」：一度読み進めた文章をもう一度元に戻って読むことを表す
- ・「切り戻る」：機器のスイッチが切り替わって元の状態に戻ることを表す

付記：本稿は平成 19-21 年度科学研究費助成金（基盤研究（C））（課題番号 19520451）による研究成果の一部である。

注

- 1) この場合、「戻す」を「取り戻す」に置き換えると自然になる。しかし、「取り戻す」は一度主体側から失われた物や状態が原状回復することに意味の重点があり、必ずしも主体の能動的行為を伴う必要はない。この点で基本的に主体の能動的行為を伴う「戻す」とは異なる。
- 2) 杉村（2007b）では WWW ページが有用なコーパスとなりうることを実際の言語分析を通して論じている。
- 3) 「直す」についても同様に検索した。WWW ページの検索日は 2007 年 6 月 1 日～6 月 10 日。杉村（2007c）参照。
- 4) 「駆ける」、「駈ける」、「かける」のように表記に揺れのあるものも一つにまとめている。
- 5) このうち「舞い戻る」は舞を舞いながら戻る意味ではない。「舞い戻る」は一度飛び出していったものが巡りめぐってまた元の場所に戻ってくる意味で使われる。不意に戻ってくるような場合によく使われる。
- 6) これに対し、「連れ戻す」で元の場所に戻るのは連れ戻される対象である。「連れ戻す」と「連れ戻る」は一見自他の対応をしているように見える。しかし、「彼はペンギンを連れ戻した」で戻るのは対象である「ペンギン」であるのに対し、「彼はペンギンを連れ戻った」で戻るの

- は主体である「彼」である。したがって、「連れ戻す」と「連れ戻る」は自他の対応をしているわけではない。
- 7) 客が店を出たとき、店の人は「客が帰ったぞ」とは言えるが「客が戻ったぞ」とは言えない。「客が戻ったぞ」と言えるのは、客が元いた場所にたどり着いた後のことである。このように「帰る」は主体が帰途に着けば使えるのに対し、「戻る」は主体が到着してからでないと使えない。このことから、「帰る」が行為に重点があるに対し、「戻る」は結果に重点がある動詞であると考えられる。
- 8) これと同様の現象は「～を立て直す→～が立て直る」、「～を書き直す→～が書き直る」のように「-直す」と「-直る」の間にも見られる。詳しくは杉村（2007a）を参照。
- 9) 「揺り戻す」、「振り戻す」については杉村（2007c）参照。

参考文献

- 小泉保・船城道雄・本田晶治・仁田義雄・塚本秀樹（1989）『日本語基本動詞用法辞典』、大修館書店
- 杉村 泰（2007a）「コーパスを利用した複合動詞「-直る」の意味分析」『言語文化論集』第28巻第2号、pp.87-101、名古屋大学大学院国際言語文化研究科
- （2007b）「インターネットを利用した日本語の類義分析」月刊『言語』7月号 第36巻第7号、pp.42-49、大修館書店
- （2007c）「コーパスを利用した複合動詞「-戻す」の意味分析」『言語文化論集』第29巻第1号、名古屋大学大学院国際言語文化研究科（印刷中）
- （2007d）「複合動詞「-疲れる」の前項動詞の特徴について」『ことばの科学』第20号、名古屋大学言語文化研究会（印刷中）